

2010年1月12日  
シンバイオ製薬株式会社  
代表取締役社長 吉田 文紀

## 米国 NCCN の未治療例の低悪性度非ホジキンリンパ種治療ガイドラインに、ベンダムスチンとリツキシマブの併用療法が第一選択療法として加えられました

2009年12月22日、米国総合がんセンターネットワーク (National Comprehensive Cancer Network : NCCN) は癌治療ガイドラインを更新し、ベンダムスチンとリツキシマブの併用療法を、低悪性度非ホジキンリンパ腫の代表的な病型である濾胞性リンパ腫ならびにマンテル細胞リンパ腫の未治療例における第一選択療法として推奨される選択肢に含めることとしました。この更新が公表されたのは、12月5日から8日までニューオーリンズで開催された米国血液学会 (ASH) の総会で、ドイツ University Hospital in Giessen の Mathias J. Rummel 教授らの未治療例の低悪性度非ホジキンリンパ種を対象とした臨床試験のデータが発表されてから、わずか3週間後のことでした。

現在、リツキシマブと CHOP <シクロホスファミド、ドキシソルビシン、ビンクリスチン、プレドニゾロン> (R-CHOP) の併用療法は、低悪性度非ホジキンリンパ種の第一選択療法において広く用いられています。今回 ASH で公表された Rummel 教授らの研究結果では、ベンダムスチンとリツキシマブの併用療法は、リツキシマブと CHOP の併用療法に比べ、複数の評価項目において統計学的に有意に優れた有効性を示し、安全性のプロファイルも優れていました。この信頼性の高いデータに基づいて、将来ベンダムスチンとリツキシマブの併用療法が、低悪性度非ホジキンリンパ腫の第一選択療法における標準治療となる可能性が高まると考えられます。

以上

### 【SyB L-0501：ベンダムスチン塩酸塩】

シンバイオ製薬は、本剤を開発品目第1号品として日本、中国、韓国、台湾、およびシンガポールにおける独占的開発および販売権に関するライセンス契約を、アステラスドイッチラント社と締結しております。また、2008年8月にエーザイ株式会社に対し日本における共同開発権および独占販売権を供与するライセンス契約を、2009年5月に韓国とシンガポールにおける独占的開発権および販売権を供与するライセンス契約をそれぞれ締結いたしました。（北米においてはセファロン社、欧州においてはムンディファーマ社が開発権および販売権を有しております。）

なお、本剤は米国NCCN（National Comprehensive Cancer Network）の癌に関するガイドライン（Clinical Practice Guidelines in Oncology）に既に掲載されており、米国では治療薬として既に市販されています。

日本においては、当社が、平成21年10月30日に再発または難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫およびマントル細胞リンパ腫を予定適応症とする希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）として、製造販売承認申請を行いました。

### 【会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、アムジェン株式会社（現 武田バイオ開発センター株式会社）の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任および経営責任を果たすことを事業目的としております。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

シンバイオ製薬株式会社

執行役員 管理本部長 前川 裕貴

Tel: 03-5472-1125

e-mail: ホームページ「お問合せ」サイトより送信をお願いいたします。

URL: <http://www.symbiopharma.com/>